

■随想

『地蔵になった男』の映像を観て いま一度振り返ってみたい 宮沢芳重さんの志

大原 直 (高21回)

昨年8月、東京・西荻窪にある西荻図書館において、40年前に放映されたNHK番組『地蔵になった男』の上映会が開かれた。これは「飯田大学」の創設を願い、日雇い労働を続けながら郷里の学校や図書館に多数の図書を寄贈し続け、飯田高校に天体望遠鏡が設置されるきっかけを作った宮沢芳重さん（1898年—1970年）の記録映像である。

この16ミリフィルム（上映時間30分）は1973年1月にNHKで放映されたのち東京都に保管されていたが、長く飯田下伊那の歴史文化を研究されてこられた法政大学国際化学部の高柳俊男教授の尽力により上映会が実現したもので、飯田高校の同窓生が多数参加した。そして、今年7月に法政大学において、南信州新聞社にNHKから特別に提供されたDVD「地蔵になった男」



●おほら・ただし
1950年生まれ。豊丘村出身。
1973年、山梨大学工学部卒業後、西松建設(株)入社。専門は環境。定年後、(株)マネジメン
トシステム評価センターに入社し、ISO審査を行っている。
在京飯田高校同窓会事務局長。

上映会と座談会が開かれそれに参加した。

私はこの映像を観て初めて宮沢芳重さんの存在を知り、その生き方に衝撃を覚えた。そこで、芳重さんの足跡をたどり彼の心の内を探ってみたいと思うようになった。

芳重地蔵と松川東小学校に飾られた 天体望遠鏡

昨年10月、芳重さんの郷里の松川町生田にある松川東小学校を訪ねた。小学校を見下ろす小高い丘に建立された「芳重地蔵」をまずお参りした。そして、かつて飯田高校天文台にあり、現在、松川東小学校の玄関に飾られている口径6インチ（15cm）の天体望遠鏡を校長先生に見せていただいた。

昭和45年に宮沢芳重さんが亡くなって2年後、郷里の



飯田高校の旧天文台に設置されていた
6インチ屈折赤道儀望遠鏡

人たちは芳重さんの遺徳を偲んで、地蔵を作り、松川東小
学校横の小高い丘に、飯田に向けて「芳重地蔵」を祀った。
また、芳重さんは「飯田大学」創設を夢見て、飯田高
校の天文台のために寄付を続け、それが契機となって昭
和33年に天文台が完成した。その天体望遠鏡は平成8年
の飯田高校校舎改築に伴い松川東小学校に移転され、同
校の玄関に飾られて子どもたちを見守っている。

「郷立」総合飯田大学構想とは

宮沢芳重さんが描いた「総合飯田大学」は、公立でも
なく、私立でもなく「郷立」である。これは、郷里の青
年が働きながら自宅から通学して学ぶような大学を飯田

下伊那の住民自らの手で設立しようというものであつた。この構想は、まず短期大学を設置し、これを進化させて、文学・農学・理学・工学・医学の各学部を順次設置し、飯田郊外の八幡原の台地に総合大学を築こうとする気宇壮大な夢であった。

この大学構想は昭和40年11月11日の「南信州新聞」に掲載され、大学創設への意思決定を飯田市に迫った。しかし、大学構想は設立のための経済的根拠が乏しかったことから飯田市の支持を得られなかった。

その後も飯田大学創設のために奔走したが、病魔には勝てず、昭和45年11月、72歳の宮沢さんは食道ガンにより永眠されて、飯田大学設立は志半ばで幻となった。

宮沢芳重さんの生涯

宮沢芳重さんは明治31年に生田村（現・松川町生田）の農家の長男として生まれた。少年時代から読書が好きで、当時の飯田中学への入学を夢見ていた。しかし家庭の事情で進学を断念した。

向学心に燃えた芳重さんは、ついに大正7年、20歳で天文学を学ぶため上京した。時事新報社に勤務する傍ら、正則英語学校の夜間部に通った。その後も陸軍技術本部など職を転々としながらも、ドイツ語専修学校、東京物

理学校（現東京理科大）予科を卒業した。また、昭和11年、38歳の時、北海道日蝕観測隊に加わり、網走で天体観測を行った。

しかし、昭和14年、41歳の時、不幸にも脳卒中に倒れて右半身不随となり、2年後に帰郷し、実家近くの水車小屋に住んだ。

その後も芳重さんは向学心を抑えられず、昭和25年52歳で再び上京した。しかし、足を引きずる身体になったため職はなく、道路清掃のリヤカーを引く日雇い労働を72歳で亡くなるまで続けた。このような逆境にあっても、仕事を終えたあと毎日、文京区根津の自宅から神田の研数学館まで歩いて通って勉強したと伝わっている。



松川町生田の松川東小学校の丘の上に建てられた「芳重地蔵」

芳重さんは稼いだ金のすべてを図書購入にあて、郷里・生田の保育園、小学校、中学校、生田図書館、飯田図書館、飯田高校に寄付し続けた。飯田図書館へは合計1200冊の図書が贈られた。飯田高校へは500冊の図書のほかに、飯田大学構想の実現のために、天体望遠鏡購入の寄付もしている。

夢は「宮沢芳重記念館」の創設

宮沢芳重さんや芳重地蔵についての記述は決して目新しくはない。また一方で、日雇い労働者が郷里に寄付をし続けたことを称賛することに抵抗感を感じる人も少なくない。

しかし、どんなにみすばらしい家に住み、どんなに粗末な着物を着ていたとしても、生涯に亘って郷里のために尽くした尊い志の価値が薄れることは決してない。「飯田大学」の設立構想を信念として生きた芳重さんの高い思想と清貧な生き方は、賛されるべきであると思う。しかし残念ながら、現在、地元松川町で宮沢芳重さんを知らない人が増えており、芳重さんや芳重地蔵に対する意識の風化も感じられる。

私は、いま改めて、飯田下伊那のために尽くした宮沢芳重さんが見直されることを願っている。そして、遺徳

を顕彰する施設、例えば「宮沢芳重記念館」の創設などは考えられないだろうか。

危惧される天体望遠鏡のゆくえ

松川東小学校は平成27年4月、松川中央小学校に統合されることになっている。芳重さんへの地元の意識が風化する中で、小学校の玄関に展示されている天体望遠鏡はどうなってしまうのだろうか。

飯田高校の校舎改築によって松川東小学校に天体望遠鏡を移設した経緯はあったのだろうか、飯田高校にそのまま保存してもよかったのではないかと思う同窓生は少なくないのではないだろうか。もし松川町が保存出来ないようであれば、ぜひ飯田高校に返還していただき、飯田高校に保存されるのが望ましいと思う。そうなれば天体望遠鏡と芳重さんの尊い志が永久に保存されることになる。

芳重さんの浄財により、天体望遠鏡を覗くことができた事実を今一度受け止め、天文班のみならず飯田高校同窓生が芳重さんの志に改めて感謝してもよいのではと考える。

参考文献

- ・「人間 宮沢芳重―その反俗の生涯―」（下沢勝井 松下 祐共著）
- ・地域雑誌「谷中根津千駄木」（其の41）「宮沢芳重 根津に住んだ哲学者」（山崎範子著）

平成25年度

在京飯田高校同窓会 60周年記念総会のご案内

在京飯田高校同窓会は“還暦”を迎えました！

■日時：2013(平成25)年11月9日(土) 午後1:00～5:00

■場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）5F 穂高
〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2番25号 電話 03-3261-9921(代)

■内容：第1部 総会

第2部 講演会

「時計遺伝子の働きを知って病気を防ぐ

——時計遺伝子 BMAL1 の秘密」

講師：池田正明（埼玉医科大学医学部生理学教授）（高28回生）

第3部 懇親会

■会費：男性 8,000円 女性 6,000円

（いずれも、うち1,000円は同窓会維持会費）

アルカディア市ヶ谷 URL <http://www.arcadia-jp.org/>